

新型コロナウイルス感染症に対応した

避難所開設及び 避難行動ガイドライン

新見市

はじめに

このガイドラインは、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止するため、『新見市新型コロナウイルス感染症対策本部』設置期間中に災害が発生した場合、避難所の開設・運営及び避難行動に必要な感染症対策について定めるものです。

新型コロナウイルス感染症に対応した

避難所開設の留意事項

基本的事項

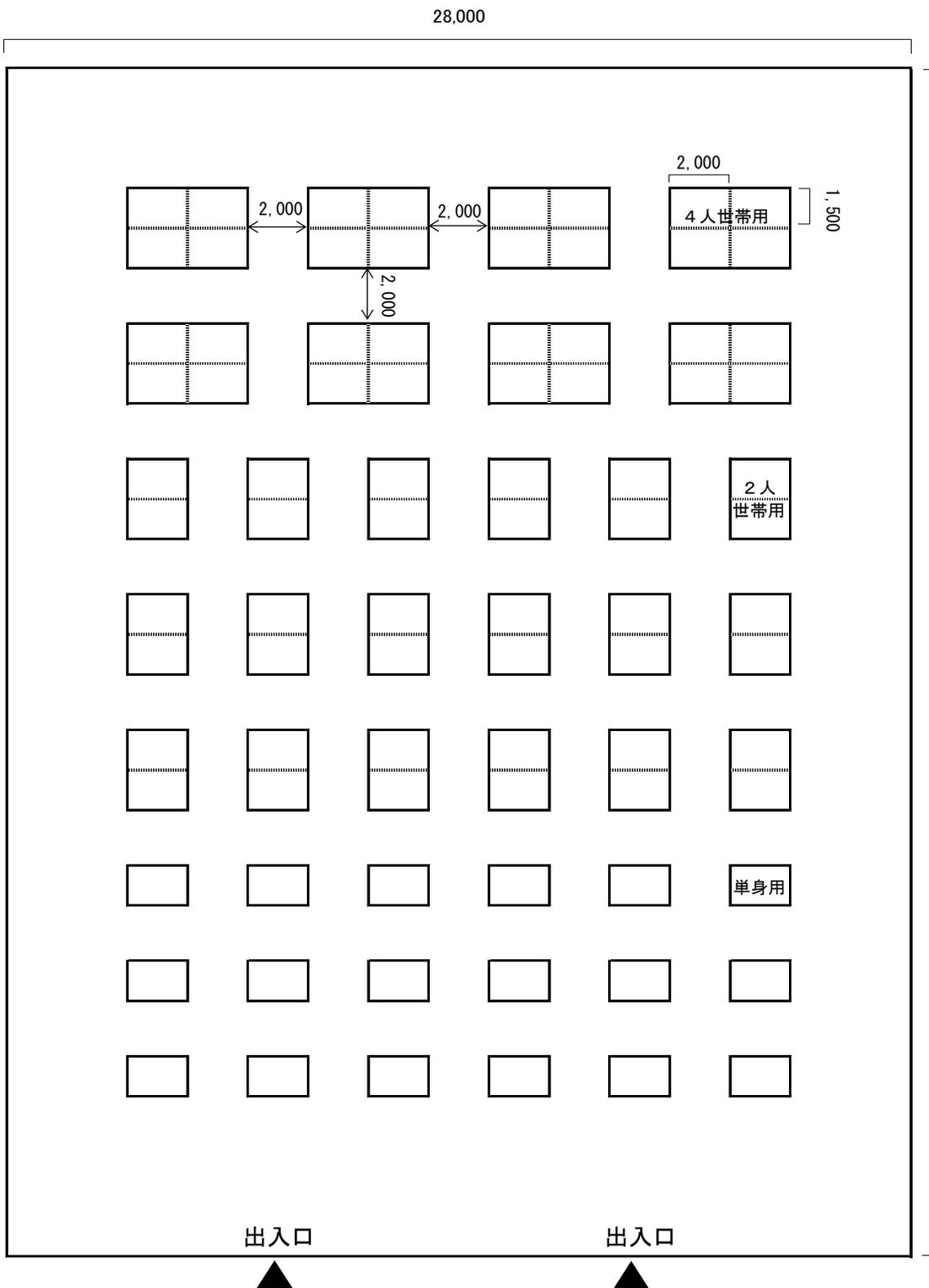
- 通常の指定避難所に加え、別地域の避難所の開設
避難所の収容人数を考慮し、通常の災害発生時より多くの避難所を開設する。
- 親戚や友人の家等への避難
避難が必要な方に対し、可能な場合は親戚や友人の家等への避難を検討していただく。
- 新型コロナウイルス感染症感染者等への対応
新型コロナウイルス感染症に感染、または濃厚接触者として自宅療養等を行っている方は、病院や宿泊療養施設等への避難など、岡山県と連携し、適切に対応する。

避難所での対応

- 手洗い・消毒等の徹底
避難者及び運営スタッフは、手洗いや消毒を行うとともに、マスクの着用など咳エチケットを徹底する。
- 十分な換気とスペースの確保
避難所内は、2方向の窓または扉を毎時2回以上、1回数分程度全開にして換気を行うとともに、避難者同士が2m程度の間隔がとれるよう対応する。
- 車中泊
避難所の収容人数が確保できない場合、車中避難をお願いする。
- 避難者の健康状態の確認
避難者の健康状態の確認を避難所受付時に行う。その後も、必要に応じて保健師の巡回等により随時把握することとする。

新型コロナウイルス感染症に対応した 避難所レイアウトの一例

- 世帯ごとに集まり、世帯同士の間隔を2mとる
- 2方向の窓または扉を毎時2回以上、1回数分程度全開にして換気を行う
- 避難生活が長期化する場合、間仕切りの設置等の配慮が必要



避難行動の流れ(感染症対応)

自宅の危険度の確認・判断

- ・防災マップで自宅が土砂災害警戒区域や浸水想定区域に入っていないか確認
- ・近くの河川に急変があるか(水位が急に上昇あるいは急に下降、急な濁りなど)
- ・裏山や崖の異変はないか(地鳴りや急なわき水、異臭など)

現在の場所で
安全が確保できる

安全かどうか
判断できない

現在の場所は
危険と判断

避難の準備

親類や知人宅で安全に避難できる場所がある。

はい

親類や知人宅へ避難

いいえ

避難所での避難

体調の不安がある。または三密を避けたい。

はい

車中避難

在宅避難
【2階等への垂直避難】

「避難」とは「難」を「避」けること。
危険な場所にいる人は避難所へ避難してください。

災害避難時のおねがい

(新型コロナウイルス感染症対応)

避難所では、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に向け、三密(密閉・密集・密接)になることを防ぐため、間隔を広くとった上で換気を行います。したがって、収容人数が十分確保できないことが想定されます。

市民の皆さんは、事前に次の事項に留意して避難行動をとっていただきますよう、よろしくお願いいたします。

○「避難」とは「難」を「避」けること。

自宅が安全であると判断できる場合は、避難場所に行く必要はありません。

○親戚・知人宅への避難を検討する。

安全な場所に親戚や知人宅があれば、事前避難を検討しましょう。

○感染症対策に必要なものを携行する。

マスク・体温計は自ら携行しましょう。

○車中避難や別の避難所での避難を検討する。

感染症流行時は、指定避難所での収容人数が十分確保できないことが想定されます。

別の地域の避難所や、車中での避難の検討をお願いします。